

虹

ねやがわし 社会福祉協議会だより

No.171
令和7年5月1日発行

ねやがわし社会福祉協議会だより
虹 171号 令和7年5月1日発行

得意な日曜大工でふだんの暮らしを支えます ボランティアグループ『とんかちクラブ』

社協ボランティアセンターでは高齢であったり障害があったりして、電球交換やふすまの張替えといった作業が難しい世帯を対象に、日曜大工程度の作業を行うボランティアグループ「とんかちクラブ」が活動しています。

とんかちクラブは日曜大工が得意な方が集まっており、会員でその作業ができるかどうかの下見をした上で、作業にあたります。

相談者宅からボランティアセンターに修繕の必要な部材を持ち入れて、複数の会員で作業をしています。修繕等に関する実費は必要です。

高所での作業や危険を伴う作業はできませんが、言わば「日曜大工的な」作業を行うボランティア活動をしています。

網戸の張替えをしてもらった80歳代の依頼者は「今までは亡くなった夫が自宅の修理などをしていました。今回、とんかちクラブさんに張り替えてもらい、部屋も気持ちも明るくなりました」と話します。

ふだんの暮らしを日曜大工でより良くするとんかちクラブでは、ボランティアを募集しています。日曜大工活動に関心のある方はボランティアセンターにお尋ねください。



☎ 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

運転ボランティア募集中

急募!!

運転ボランティアが不足しています 移動を支える取り組みにあなたの力を

外出が困難な高齢者や障害者をリフト付き福祉車両で、通院や行事参加など目的地までの送迎をする、運転ボランティア活動(無償活動)への参加に必要な国土交通省認定の講習会です。



福祉車両路上演習



1日目講義風景

あなたの時間を「運転ボランティア活動」で有意義な時間にかえてみませんか。認定講習会を通じて、移動支援ボランティア活動にご協力をお願いします。

運転協力者認定講習会

日時 6月5日(木)午前10時～午後5時30分
6月12日(木)午前10時～午後1時

場所 市立保健福祉センター4階
健康指導室A・Bほか

内容 関係法令の講義や福祉車両の特性についての演習など

対象 ・市内在住、在勤の方
・普通免許をお持ちで、日常、車を運転されている75歳までの人(パーパードライバーの方、運転に自信のない方はご遠慮ください)
・月1回以上活動(無償活動)できる方

定員 20人(定員になり次第締め切り)

参加費 無料(福祉関係事業所に登録、勤務している方、上記の対象にあてはまらない方は11,500円)

☎ 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

編集後記

れんこん畑

今年は昭和が始まってから数えて100年になるようです。

私は用事をしながら聴けるラジオが好きで、昭和100年を記念する番組があり、当時のことを思い出し、懐かしい気持ちで聴きました。

またテレビでは、昭和100年の記念特別番組がクイズ形式で放映されていました。出演のタレントさんたちが賑やかに挑戦しているのを観て、昭和生まれの私は大いに楽しむことが出来ました。3月は小学校と中学校の卒業式に出席しました。

小学校の卒業式では6年間の成長の過程で身につけたことや友だちとの思い出など、一人ひとりが自分のことばで力強く堂々と発表する姿や、別れの歌を歌う姿はとても素敵で心を打たれました。

中学校の卒業式は厳肅な雰囲気の中で行われ、送辞、答辞の一言一句に感動しました。

昭和が始まって100年を迎えるほどに年月が経ち、児童数の減少や時代の変化などで一部は様変わりを感じましたが、卒業式では児童・生徒、先生、保護者の様子は昔と変わらずみんなの温かい気持ちであふれており、そのことにうれしく思い、彼女らの「未来に幸多かれ」と願った卒業式でした。

(K・Y生)

ホームページ



フェイスブック



インスタグラム



UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

寝屋川市社協 検索

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

令和7年度 事業計画 重点目標

令和7年度社協事業計画では、重点目標として次の5つを上げています。

目標1

重層的支援体制整備事業における多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、参加支援事業を受託し、複雑困難な課題を抱えた地域住民が孤立することなく、支援につなげ、また、居住支援をより充実させ、社会に参加できるよう支援していきます。

目標3

地域貢献委員会やその他地域福祉に関わる多様な関係団体と連携し、地域課題の共有や解決策の検討をともにを行い、広くネットワークを形成することで地域住民を支援していきます。

目標5

地域福祉活動計画の推進および新たな計画の策定の中で、課題を抱えた方や校区福祉委員・ボランティア、社会福祉法人や事業者など福祉関係者の声を聴き、課題の把握をしたうえで方針や解決策を見出していきます。

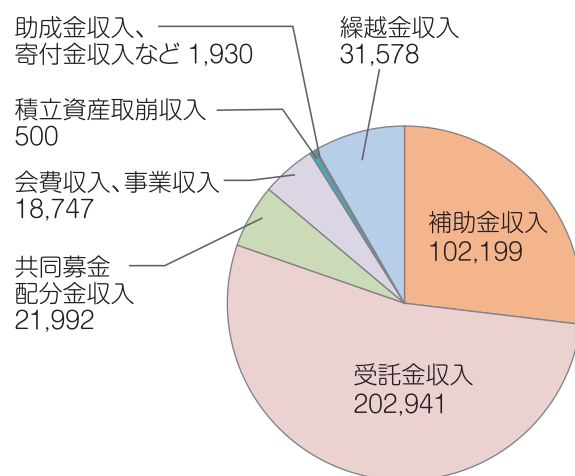
目標2

ボランティアポイント事業などの新たな取り組みや各種講座を通じて、さまざまな世代がボランティア活動に参画するきっかけや仕組みづくりを実行していきます。

目標4

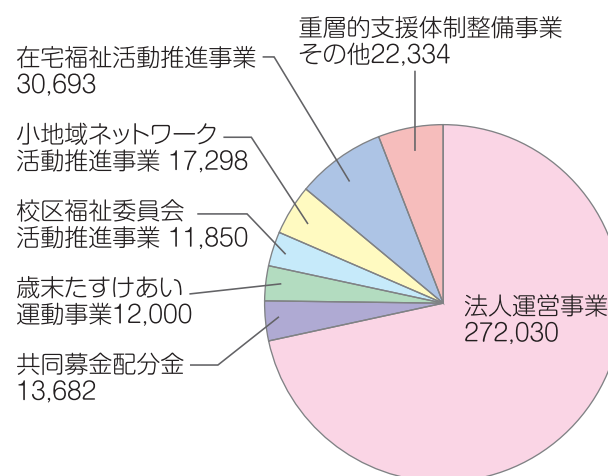
社会福祉協議会のあらゆる活動を支えていく財源確保のために、寄付文化の醸成や会員募集・各種募金の理解促進などを目的としたさまざまな方策を検討していきます。

令和7年度予算 収入



収入合計379,887千円

令和7年度予算 支出



支出合計379,887千円

事業計画・予算の詳細はホームページをご参照ください

図 総務課・地域福祉課 ☎ 072-838-0400

令和7年度

共同募金助成の申請受付が始まります。

「つながりをたやさない社会づくり」に貢献する事業を応援します!

共同募金は、市民のみなさまや多くのボランティアからのあたたかいご支援・ご協力に支えられています。お寄せいただいた募金は、大阪府内の民間社会福祉事業の支援に活用されます。また、国内で大規模災害が発生した際に、被災した方々を助ける活動の支援にも活用されます。

令和7年度共同募金運動を10月より開始するに先立ち、大阪府内の福祉ニーズを把握するために令和7年5月1日(木)から20日(火)までの期間に助成申請の受付をいたします。

助成を希望されるみなさまには、共同募金運動の趣旨をご理解いただき、市民のみなさまから共感を得るために有効な事業計画を立案され、申請いただきますようお願いいたします。

受付期間 令和7年5月1日(木)～20日(火)

助成対象 大阪府内で行う民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体が令和8年度に実施する事業

申請様式 下記URLまたはQRコードよりダウンロードできます。
《URL》<http://www.akaihane-osaka.or.jp/>



図 総務課 ☎ 072-838-0400

こんにちは! 地域支え合い推進員です

地域支え合い推進事業では、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気で生きがいを持って暮らし続けることができるように、社会参加と介護予防の仕組みづくりや担い手育成を行っています。

社協に地域支え合い推進員が配置されており、高齢者の生活課題や地域の情報の把握、交流の場や生きがいとなる場の立ち上げ支援、ニーズと取り組みのマッチングなどのコーディネート業務を担っています。

この事業では、高齢者が輝ける地域づくりのため、気軽に集える居場所の提供や、担い手として社会参加を支援できるいろいろな団体や個人の参加をお待ちしています。

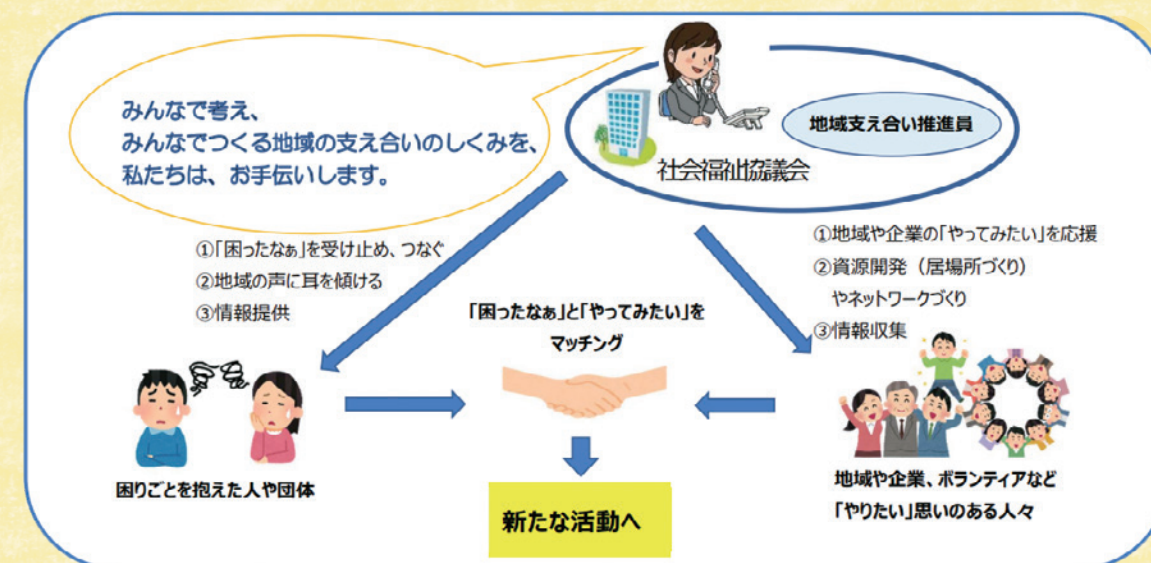
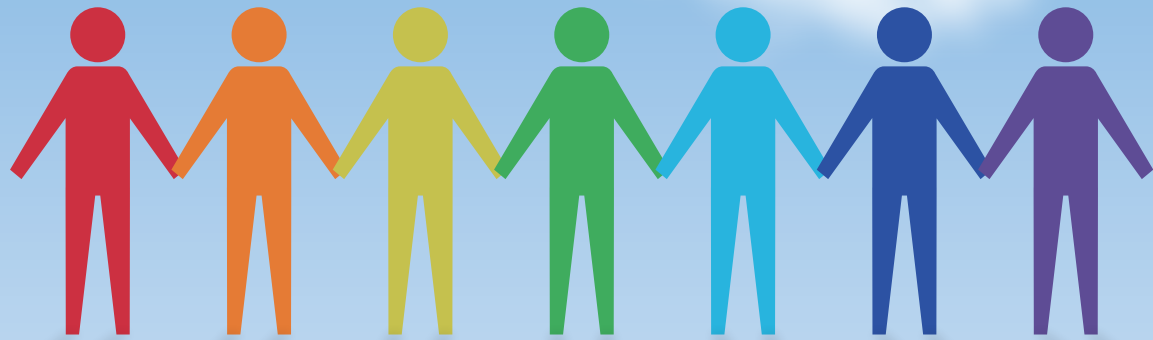


図 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

暮らしにくさをたくさんの支援機関で 支える仕組みが始まります



重層的支援体制整備事業

重層的支援体制整備事業とは、社会福祉法に基づいて市町村で、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するための取り組みです。

生きにくさや暮らしにくさがある個人や家族は、ひきこもり状態や老老介護、また、いわゆる8050問題にあるとおり、就労や収入の問題、介護の問題などが互いに関連しあって、その課題のある個人や家族でも「どうしたらよいのか分からない」状態に陥ってしまう傾向が見られます。

社協では、寝屋川市から重層的支援体制整備事業における多機関協働事業を受託し(多機関協働マネージャーの配置)、この事業を運営しています。

多機関協働事業では「どうしたらよいのか分からない」状態を整理して、その課題がどこにあるのをはかりやすく示します。支援機関は暮らしを支える仲間として、多機関が連携して「支援プラン」を作成します。「支援プラン」を進めるにあたっては、必要な支援機関等が集まって重層的支援会議を開催し、支援方針の検討や役割分担を決めて、暮らしにくさの軽減をはかります。

※令和7年度からはアウトリーチ等を通じた継続的支援事業(必要な支援が届いていない世帯に対して、訪問等を通じて本人と信頼関係の構築やつながりづくりを行い、支援につなげていく事業)、参加支援事業(さまざまな理由で社会に参加できない方等に対し、地域における交流・活動の場への参加や就労支援の利用に向けた支援等を行う事業)も市から受託し、支援を実施していきます。

用語コーナー

老老介護

老老介護とは、高齢者が高齢者を介護しており、例えば、夫婦や親子などでどちらかが介護者でもう一方が介護が必要な状態を言います。
老老介護状態では、介護者に体調等の急変があった時、たちまち要介護者も深刻な事態になる可能性が高いと見込まれています。

8050問題

8050(ハチマルゴーマル)問題とは、例えば、80才代の親が50才代の自立できていない子を、経済的にも精神的にも支えざるを得ない状態を指しています。子世代のひきこもり状態から、親子共に地域社会から孤立してしまうと、高齢の親とひきこもり状態の子が共に深刻な状態となるおそれがあります。

☎ 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

堀溝校区福祉委員会 活動紹介

Vol.40

住民がほほえみあう地域をこれからも

これまで堀溝校区では、子どもから高齢者まで参加できる場づくりを進めてきました。「ほほえみ」という言葉が活動名に多く使われているのは、堀溝校区が笑顔あふれる地域になるよう願いを込めてつけたものです。そんな地域の活動を紹介します。

ほほえみひろば

60歳以上の人を対象に、毎月第3月曜日に開催しています。ゲームや手遊び、お話しなどで盛り上がり、楽しい時間を過ごしています。



ひもの先の景品は何か？
ドキドキわくわくみなさん真剣です。

ほほえみなんでも相談所

寝屋川市堀溝3丁目10-20
(堀溝サービス窓口奥 072-821-8294)

ほほえみなんでも相談所は毎週木曜日午前10時から12時30分まで開所しています。日頃感じる困りごとや不安といった相談をまちかど相談員や専門職がお聞きします。(秘密は守られます)。また、相談がなくても気軽にお茶を飲みに来てください。

☎ 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

ほほえみわんぱくひろば

0歳から就学前の子どもとその保護者を対象に、毎月第3木曜日に開催しています。水遊びやクリスマスなどの季節に合わせた取り組みは、毎年たくさんの子供と保護者が来ています。また、子どもたちが紙芝居や歌、おもちゃ遊びなどを行っている間、保護者同士の情報交換の場にもなっています。



福祉学習支援

福祉教育は、子どもたちの福祉の理解を進める取り組みです。堀溝小学校では、相手を思いやることの大切さを学ぶため、1月15日にアイマスク体験、昨年の11月29日には車いすの体験学習を行いました。

アイマスク体験では、二人一組となってアイマスクをし、児童は、周囲が見えない中でペアの介助者を信頼して、校内を歩きます。また介助者は、ペアの相手を不安にさせないように周囲のようすを伝えながらコースをすすみます。

車いす体験では、堀溝校区の福祉委員に見守られ、校外に出て通学路を車いすで移動しました。児童は「車いすに乗って見て、少しの段差でも車いすが傾くと怖かった。声かけの大切さが分かった」といった声が聞かれました。



車いす体験

働くための準備を応援します

就 労 準 備 支 援 事 業

新年度を迎えて次の進路が見つからない方や、新たな環境の中に馴染めず、悩みを抱えている方もいらっしゃるかと思います。

就労準備支援事業では、利用される方一人ひとりの「こうなりたい」気持ちを支援員が聞き取り、解決したい課題や達成したい目標と一緒に考え、支援プランを立てて活動します。

例えば解決したい課題が生活リズムの立て直しであれば、決まった時間に社協に来て、関心の持てる作業をする提案をしています。また、達成したい目標がコミュニケーション能力の向上であれば、支援ツールを使って会話のひろげ方を習得することを目指します。

課題や目標について言葉にすることが難しかったり、そもそも思いつかないこともあるかと思います。そのような時は課題や目標について無理に設定せず、支援員との面談を重ねるために、来る方もおられます。

利用の前に話を聞いてみたい…など事前の相談もお受けしています。お気軽にお問い合わせ下さい。



作業風景(ペーパークラフト)

☎ 生活支援課(就労準備支援事業担当) ☎ 072-812-2040

善意銀行だより

あたたかいご寄付をありがとうございました！

(令和7年1月1日～3月31日) 敬称略

現金の部

預託者氏名
亀本 久子
寝屋川市グラウンド・ゴルフ協会
他匿名 2件

一般寄付金への寄付金合計は9,555円でした。
善意銀行の指定寄付金合計は111,202円でした。

市民のみなさんから寄せられた善意のお金や物品をお預かりし、必要としている個人や福祉関係機関・団体などに払い出しをする取り組みです。
「寄付金を活用してほしい」「物品を寄付したい」などございましたら下記の連絡先までお願いします。

＜お願い＞お受けできる物品は、新品(相当)のものに限ります。
ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

物品の部

預託者氏名	品 名
市環境総務課	精米、加工食品、乾麺、レトルト食品等
有限会社 にし尾	精米
すばる・北斗福祉作業所	精米
明德保育園	レトルト食品、加工食品、瓶詰、缶詰
竹田 浩子	日用品
中村 茂喜	缶詰
つばさ福祉作業所・チャレンジドセンターつばさ	車いす
他匿名 4件	玄米、缶詰、飲料、加工食品等

☎ 生活支援課 ☎ 072-812-2040

つばさ福祉作業所、チャレンジドセンターつばさ様から車いすの寄贈がありました



「つばさ福祉作業所」と「チャレンジドセンターつばさ」から社協に車いすを寄贈していただきました。
この車いすは、作業所に通う仲間がアルミ缶とスチール缶やビン等を選別する作業を行って得た資金で購入したものです。

寄贈に来られた仲間のひとりから「暑い日も寒い日もみんなで分別作業をしました」といった作業の様子が聞かれました。
社協では、車いす貸出事業の車いすとして活用します。
ありがとうございました。



献血だより

400ml献血にご協力ください

～献血は命をつなぐことのできるボランティアです～

あなたの善意の献血で多くの命を救うことができます。全国的に血液が不足している状況の中、一人でも多くの方に献血のご協力をお願いします。

なお、献血当日は地域の校区福祉委員会および関係機関・

団体がお手伝いしています。

都合により、日時・場所が変更される場合があります。



日 程	受付時間	実施予定場所
5月15日(木)	10時～16時30分(休:12時～13時)	京阪寝屋川市駅東口前
5月30日(金)	10時～16時30分(休:12時～13時)	イオンモール四條畷
6月3日(火)	10時～12時	コーナン東寝屋川店
6月19日(木)	10時～11時30分	ダイエー寝屋川中神田店

☎ 北大阪赤十字血液センター ☎ 072-632-4747

いろいろなハラスメントを学ぶ 福祉従事者向け研修を開催

市内にある高齢や障害、保育の福祉施設の役職員を対象に、いろいろなハラスメントに関する研修を行いました。
この研修は福祉施設の立場からいろいろな取り組みを行う地域貢献委員会が主催したもので、講師にはハラスメント問題に詳しい弁護士2名を招いて、2日間に渡って開催しました。

いわゆる「セクハラ」や「パワハラ」は、よりよい職場環境を作っていくために誰もが気をつけなくてはならないポイントを講師から説明がありました。また「カスタマーハラスメント」では、「相手の気持ちや訴えと、実際に起こっていることをていねいに聞き分けて対応することが大切だ」などといったアドバイスが示され、参加者は学びを深めていました。

昨今、いろいろなハラスメント事例が示されていますが、福祉従事者は相談者や利用者によりよい支援を行い、寝屋川市の福祉が発展していくよう研修を重ねています。



☎ 生活支援課 ☎ 072-812-2040